

第58回

神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のテーマは「成の改変」。駒が成った後の利きや性質が通常とは異なるルールの特集です。

「成」は利き以外の性質も変えることがあります。例えば歩は成ると性能が金になると同時に、二歩禁の適用が除外されます。今回はそんな「属性変化」の一つとして、成ったときに玉属性（相手からの取りを回避する義務）が付与または除去されるルールが登場します。玉属性が付与される場合、複数の「玉」が現れる可能性があるのですが、ルールは「多玉」となります。

ただし、成り方や成駒の取りに関する規則（現位置か移動先が相手陣内るとき成れる・成駒は生駒に戻せない・成駒を更に成ることはできない等）は

変わりません。また「成駒が取られると生駒に戻って相手の持駒になる」という規則も、④の「成玉夫」以外にはそのまま適用されます。

【ルール説明】

【協力詰（ばか詰）】先後協力して最短手数で受方玉を詰める

【協力自玉詰（ばか自殺詰）】先後協力して最短手数で攻方玉を詰める

【龍角】成飛が角の利きとなる

【馬飛】成角が飛の利きとなる

【杏玉】成香が玉の性能になり、玉属性を持つ

【受先】受方から指し始める

【成玉夫】玉が成れる。成ると利きはそのまま玉属性のない駒（夫と表記）になる。夫は取られると相手の持駒にならずに消える（取捨て）。

【多玉】攻方または受方が複数の玉（玉属性を持つ駒）を使用できる。どの玉に対しても王手放置は禁手。王手を外せなければ詰み。

【と玉】成歩が玉の性能になり、玉属性を持ち、二歩禁の対象外となる。

【出題作についての補足】

①は通常の協力詰。駒を上手く入れ替えて、馬を入手してください。

②は「成」で飛が角に、角が飛になるルール。成ると元に戻れないので、成る時期と場所の選択が重要です。

③と⑤は自玉が盤上にない協力自玉詰。③は香、⑤は歩を成って自玉を作ります。作る玉が単数か複数かも重要な選択です。

④は玉が成ると利きはそのまま、玉属性が除去されるルールです。普通なら「13飛成、25玉、24龍、16玉、26龍」で詰みですが、「17玉成」と受けられると「詰」の達成が不可能になります。全力で受方玉の「成」を阻止してください。攻方玉も成ると玉属性がなくなるので、有効に使いましょう。それ以外は普通の詰将棋と同じで、無駄合概念も適用されます。

懸賞

▼締切 6 月末日。呈賞 5 名。解答は編集部または左記アドレスへ

E-mail : k7ro.ts@gmail.com

▼メール 解答の際は件名に「解答」の語句を入れてください。

▼評価点不要。短評歓迎。1 題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

③伊達悠

杏玉多玉協力自玉詰 11 手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						延		一
								二
								三
								四
								五
								六
							王	七
						飛		八
								九

持駒 銀香

④るかなん

成玉夫詰 13 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		龍	と				銀	滯	一
			角						二
				飛					三
			銀	王				王	四
						角			五
						滯			六
									七
									八
									九

持駒 なし

①神無七郎

協力詰 99 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
					王				三
					飛	王	王		四
									五
							王		六
								王	七
					香	王	王	王	八
									九

持駒 歩18

⑤たくぼん

と玉多玉協力自玉詰 20 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
							角		二
						角			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

②神無太郎

龍角馬飛協力自玉詰 10 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
王									七
									八
									九

持駒 角